

ゲルインクボールペン『uni-ball one (ユニボール ワン)』シリーズ
愛らしいフォルムと上質な書き心地を両立した“ころんと、可愛い。”最新モデルから
自分だけの癒やしの時間を連想させる新軸色が登場
『uni-ball one P バスボムカラー』
3月25日(月)一部数量限定発売

三菱鉛筆株式会社(本社:東京都品川区 社長:数原滋彦)は、黒は一層濃く、カラーはより鮮やかに発色するゲルインクボールペン“ノート、くつきりキマる。”『uni-ball one(ユニボール ワン)』シリーズの最新モデル『uni-ball one P』から、バスボムをイメージした新デザイン4種『uni-ball one P バスボムカラー』(参考価格:税込 660円/税抜 600円/インク色:黒/ボール径:0.38mm、0.5mm)を3月25日(月)に一部数量限定で新発売いたします。

『uni-ball one P』は「手に収まる上質感」をコンセプトに、ころんとしたミニマルでかわいらしいフォルムと上質な書き心地を両立したモデルです。商品名にある“P”は Pocket(ポケット)の頭文字で、手になじむ上質さとどこへでも持っていきたくなる世界観を表しております。短寸で太めの丸みを帯びた形状とほんのりとしたマットなカラーリングは、愛らしい見た目ですら日常に癒やしを与えます。また、手のひらに収まる最適なサイズや重さに設計し、ペン先には金属製のスタビライザー機構を搭載するなど『uni-ball one』シリーズの特長である上質な書き心地も継承した、いつもそばに置いておきたくなるアイテムに仕上がっております。

今回、新発売のカラーは『uni-ball one P』をお使いいただく時間により“癒やし”を感じていただけるような軸色として、バスボムから着想したデザインにいたしました。同じ軸色でも1本1本模様には違いがあり、自分だけの1本をお選びいただくことでより愛着を持ってお使いいただけます。



『uni-ball one(ユニボール ワン) P バスボムカラー』
左から、M サボン、M ピオニー、D ラベンダー(数量限定)、D ホワイトティー(数量限定)



【商品特長】

■自分だけのとっておきを感じられる軸色

『uni-ball one P』の癒やしの世界観ともマッチするバスボムから着想したカラーリングです。大切なコレクションを眺めるときのような特別な気持ちを、ペンを使用するときにも感じていただきたいと考え、デザインいたしました。同じ軸色でも1本1本模様に違いがあり、自分だけの1本をお選びいただくことでより愛着を持ってお使いいただけます。

M サボンとM ピオニーには白くマーブル模様が入っており、じっくりと眺めていても飽きないような“ゆらぎ”を感じられる上質なデザインです。

D ラベンダーとD ホワイトティーは、軸に入っている“カラフルなつぶつぶ”がさりげないアクセントとなり気分を上げてくれる1本です。

■ころんとした愛らしいフォルムと手に収まるサイズ感

“ころんと、可愛い。”がキャッチコピーのぽってりとした愛らしいフォルムです。まるで一般的な筆記具をデフォルメしたような短寸で太めの丸みを帯びた形状になっており、ノック棒も面が広く角の取れたデザインを採用しております。ミニマルでぽってりとかわいらしい『uni-ball one P』はかばんにも入れやすく、いつでもそばに置いておきたくなるアイテムです。

■『uni-ball one』シリーズの上質な書き心地を継承

「手に収まる上質感」をコンセプトに、デザイン性だけでなく、持ちやすさ、書きやすさにもこだわりました。

- ・通常のボールペンより短寸でかわいらしいフォルムでありながらも、さっと手に取って書き始めるのに、最適な長さ・太さ・重さに調整して、筆記時の持ちやすさにもこだわりました。
- ・筆記時に手に当たらない長さで幅広の新形状クリップは、『uni-ball one』シリーズの特長である可動式でノートや手帳にも挟みやすくなっています。
- ・ペン先には金属製のスタビライザー機構を搭載し、安定した書き心地を実現しております。
- ・リフィルは『uni-ball one』シリーズ共通で、にじまずくつきりと発色するインクを搭載しています。



軸サイズ比較

【商品概要】

| | |
|------|--|
| 商品名 | uni-ball one(ユニボール ワン) P バスボムカラー |
| 品名 | UMN-SPT-38/05 |
| ボール径 | 0.38mm/0.5mm |
| 軸色 | 0.38mm:M サボン(継続品)、D ラベンダー(数量限定) 0.5mm:M ピオニー(継続品)、D ホワイトティー(数量限定) |
| インク色 | 黒 |
| 参考価格 | 1本 660円(税抜 600円) |
| 替芯 | UMR-38S/UMR-05S |

【ご参考】『uni-ball one(ユニボール ワン)』シリーズについて

uni-ball one シリーズのラインアップはこちら：https://www.mpuni.co.jp/products/ballpoint_pens/uniball_one/index.html

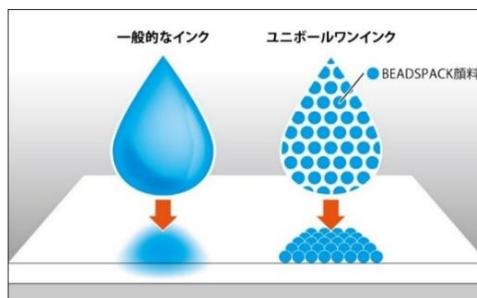
2020年2月に新発売した、“ノート、くっきりキマる。”『uni-ball one』は、“濃くくっきり書ける”という機能や、“生活空間に溶け込むシンプルさ”というデザイン性により、学生から社会人までの幅広い層から好評を得ています。

■新開発の「ユニボールワンインク」の特長

『uni-ball one』シリーズのインクは、一般的なゲルインクと異なり、色材の紙繊維への浸透を極力抑える、新しい顔料を使用しています。

「ユニボールワンインク」に使用している顔料は、従来の色材を粒子中に閉じ込めた独自開発のビーズパック顔料です。

インクの色材となる顔料を粒子中に閉じ込め、粒子のサイズを大きくすることで、色材の紙面への浸透を極力抑えます。それにより、紙面上の色材が本来の色を発色し、黒はより濃く、カラーはより鮮やかに発色します。



① 黒は一層濃く、カラーはより鮮やかに発色し、記憶に残りやすい、くっきりキマる文字が書ける



従来品と『uni-ball one』濃さ比較

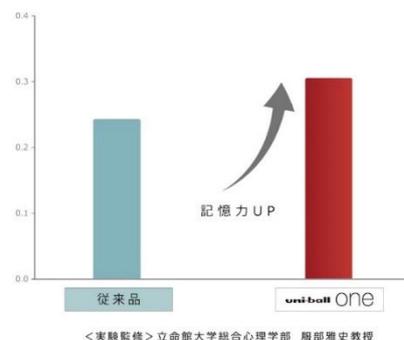
一般的なゲルインクと比べて、黒色はより一層濃く発色します。

当社と立命館大学との共同研究により、黒色に関して、濃く、くっきりとした文字ほど記憶に残りやすいことが分かりました。一般的なゲルインクよりも濃い『uni-ball one』シリーズを使用することで、ノートを見返したときに印象に残りやすい文字を書くことができます。

＜立命館大学との共同研究について＞

立命館大学総合心理学部 服部雅史教授監修の下、高校生を対象に認知心理学の実験手法である「記憶再生課題」を行いました。濃淡の違うボールペンで手書き文字の記憶成績を比較したところ、『uni-ball one』シリーズの濃い黒インクで書いた文字の方が一般的なゲルインクと比べて正答率は高く、記憶の再生率が高いという結果を得ました。

この研究結果については、日本基礎心理学会第38回大会にて報告いたしました。



② にじまず、速乾性の高いインク

一般的な速乾性インクは、紙面へのインクの浸透を速くすることで速乾を実現しています。そのため、インクのにじみや裏抜けが起こることがありました。

新開発の「ユニボールワンインク」は、インク内の固形と液体の成分比を変えることで、液体成分を素早く紙面へ浸透させながらも、固形分である色材を紙面に残すことを可能にしています。紙面への浸透が速い速乾性インクでありながら、色材が紙面に吸収されるのを抑えるため、にじまず、裏抜けしません。

■シンプルでストレートな軸デザイン

軸デザインはシンプルでストレートな形状です。オーバル形状の「オープンワイヤークリップ」は、スタイリッシュなデザイン性に加え、ノートや手帳に挟みやすい可動式のクリップとなっており、機能性も兼ね備えた仕様です。

＜報道関係 お問い合わせ先＞
三菱鉛筆株式会社 経営企画室 広報担当 寺杣(てらそま)、庫田(くらた)
TEL 03-3458-6222/FAX 03-3458-6217

※ 商品に関するお問い合わせは「三菱鉛筆 お客様相談室」でお受けしています。TEL 0120-321433